

コメント

1. インフルエンザ

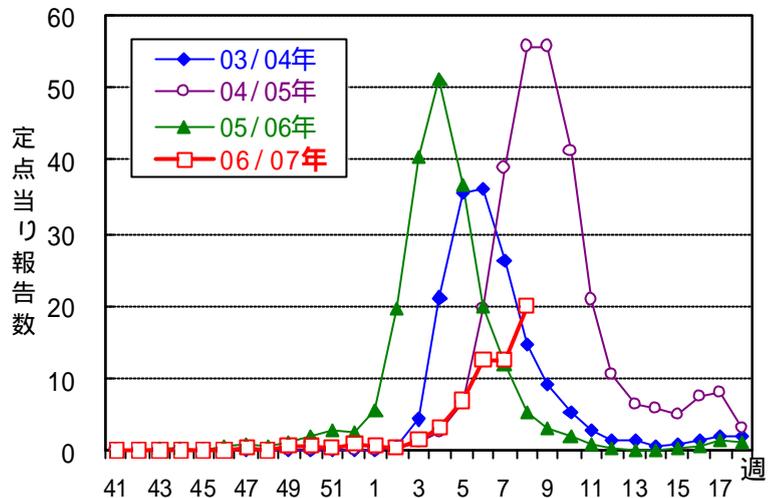
定点当り19.9人と増加しています。東区39.3人、安芸区37.7人と警報開始レベル(定点当り30人)を超えており、その他の区でも注意報レベル(定点当り10人)を超えています。

2月は25人の患者からインフルエンザウイルスが検出されており、型別内訳は、B型が15人、A香港型が10人となっています(2月27日現在)。

2. RSウイルス感染症

定点当り0.50人報告されています。今年に入って減少傾向で推移していましたが、前週からやや多くなっています。

インフルエンザ



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均去5年(注1間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均去5年(注1間)	発生記号
インフルエンザ(注2)	737	19.92	25.22	▲	麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	9	0.38	0.25		流行性耳下腺炎	1	0.04	1.28	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.21	1.41	▼	RSウイルス感染症	12	0.50	0.17	
感染性胃腸炎	173	7.21	13.28	◀	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	25	1.04	2.04	▼	流行性角結膜炎	3	0.38	0.93	
手足口病	2	0.08	0.13		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	5	0.21	0.16		無菌性髄膜炎	-	-	0.08	
突発性発疹	13	0.54	0.68		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.28	
百日咳	-	-	0.03		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.03		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	0.13	0.08						

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	◀	▶	ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当り)
 (注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3)成人麻疹を除く
 (注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	感染症																			
		インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹 (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)
定点当り	第4週	121	8	41	227	47	2	6	7	-	-	-	1	14	-	7	-	-	3	-	-
	第5週	252	19	58	258	38	3	9	10	-	-	-	1	9	-	4	1	-	-	-	-
	第6週	461	17	64	287	48	5	12	14	-	-	2	-	6	-	3	-	-	3	-	-
	第7週	465	11	46	219	40	2	4	14	-	-	1	-	11	-	1	-	-	3	-	-
	第8週	737	9	29	173	25	2	5	13	-	-	3	-	12	-	3	-	-	4	-	-
	第4週	3.27	0.33	1.71	9.46	1.96	0.08	0.25	0.29	-	-	-	0.04	0.58	-	0.88	-	-	0.43	-	-
	第5週	6.81	0.79	2.42	10.75	1.58	0.13	0.38	0.42	-	-	0.04	0.04	0.38	-	0.50	0.14	-	-	-	-
	第6週	12.46	0.71	2.67	11.96	2.00	0.21	0.50	0.58	-	-	0.08	-	0.04	0.25	-	0.38	-	-	0.43	-
第7週	12.57	0.46	1.92	9.13	1.67	0.08	0.17	0.58	-	-	0.04	-	0.13	0.46	-	0.13	-	-	0.43	-	-
第8週	19.92	0.38	1.21	7.21	1.04	0.08	0.21	0.54	-	-	0.13	-	0.04	0.50	-	0.38	-	-	0.57	-	-
全国	第6週	9.95	0.38	2.62	7.02	2.43	0.40	0.61	0.61	0.01	-	0.03	0.01	0.58	0.03	0.61	0.02	0.02	0.62	0.02	-
	第7週	11.91	0.29	2.14	6.09	2.30	0.30	0.44	0.54	0.01	-	0.03	-	0.56	0.02	0.64	0.02	0.02	0.53	0.02	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻疹を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

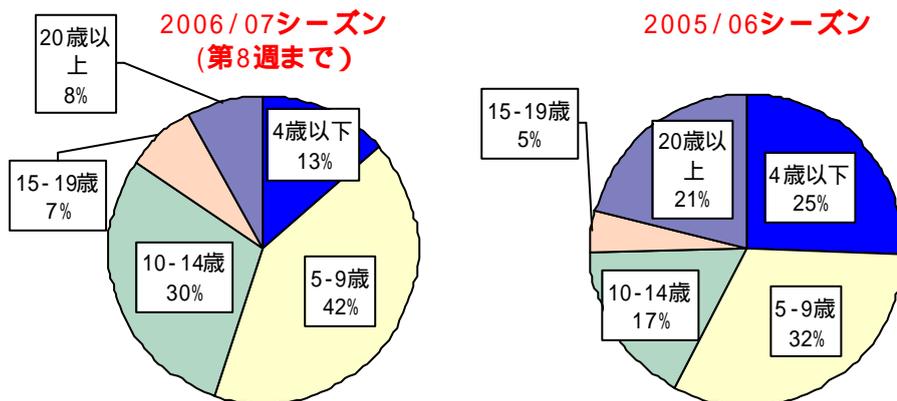
診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	10	女	2007/02/17	鼻汁(拭い液)	インフルエンザB型
インフルエンザ	不明	不明	不明	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	不明	不明	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	不明	不明	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
咽頭結膜熱	5	男	2007/01/03	咽頭拭い液	アデノウイルス5型
咽頭結膜熱	不明	男	2007/01/17	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
感染性胃腸炎	2	男	2007/01/05	糞便	ノロウイルスG2群
腸重積症	1	男	2006/12/29	糞便	アデノウイルス1型
不詳	1	女	2007/01/08	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス5型

インフルエンザウイルス検出速報

2月判明分 (検体採取日 2007年1月30日～2月20日)

	散発 (病原体定点より搬入)			集団かぜ			合計		
	Aソ連型	A香港型	B型	Aソ連型	A香港型	B型	Aソ連型	A香港型	B型
2月判明分	0	10	10	0	0	5	0	10	15
今シーズン計	1	10	12	0	0	5	1	10	17

【参考】広島市におけるインフルエンザの年齢階層別構成比



今シーズンの5歳間隔の年齢階層別構成比は、5～9歳の年齢層が最も多く42%を占めており、次いで10～14歳が30%、0～4歳が13%を占めています。

昨シーズンと比較して、10～14歳の比率が高く、0～4歳の低年齢層と20歳以上の大人の比率が低くなっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第8週 (2月19日～2月25日)